


ディスクロージャーニュース

2011.9

地域のみなさまとともに



くらし、もっとイキイキ

 両備信用組合

ごあいさつ

皆様には、平素より両備信用組合に対しまして、格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

リョーシンでは、お取引先の皆様に財務内容、事業活動の推進状況等について、3月末の決算期に加え、半期毎の情報開示を行っておりますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

平成23年度上期の地域経済は、東北大震災や原発事故による経済の停滞に加え、デフレ状況、産業の空洞化等による構造的な負の要因が重なるなか、景気の回復感は乏しく、きわめて厳しい経済状況が続いております。

こうしたなか、リョーシンはお取引先の経営改善支援やご家庭の生活の質の向上に資することが、恒久的な使命・存在価値であるとの認識の下、全店舗において地域密着型金融および金融円滑化に継続して取り組んでまいりました。

また、広島県信用組合との合併協議につきましては、合併により更なる強固な経営体質の実現から、今後重要性が増すお取引先の経営改善支援、創業・第二創業支援およびアグリビジネス支援等の提供など、様々な合併効果の発揮施策について両組合で協議しているところであります。そういったなかで、人事諸制度および事務処理システムの統合に想定以上の時間を要することから合併期日を延期し、平成25年2月を目処とすることにいたしました。引続き、将来を見据えた新しい信用組合を目指して合併協議を進めてまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも、協同組織金融機関として、地域のお客様のお役に立てるよう、役職員一丸となって邁進していく所存であり、格別のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

平成23年11月

理事長 内海正之



■経営理念

- ・組合は、豊かな暮らしづくりに奉仕し、地元住民と共存共栄する。
- ・役職員は、郷土発展のために働き、その使命に自信と誇りを持つ。
- ・経営は、健全経営で組合員の付託にこたえ、職員に働き甲斐を与える。

■経営信条

- ・「感謝」私達はお客様に常に感謝し、日々の業務を通じて奉仕いたします。
- ・「正直」私達は法令及びルールを遵守し、社会規範に反しない正直な業務を行ってまいります。
- ・「創意」私達は環境の変化に対応できる、創意と工夫を行ってまいります。

■目次

ごあいさつ	1
業績ハイライト	
預金の推移	2
貸出金の推移	3
不良債権比率の推移	4
自己資本比率の推移	5
中小企業等金融円滑化の取り組み進捗状況	6
主要な経営指標の推移	7
地域貢献活動	8
合併協議について	10

■両備信用組合の概要

設立 昭和27年4月
 出資金 919百万円
 組合員数 22,987名
 店舗数 15店舗
 常勤役職員数 159名
 営業地域
 府中市、福山市（内海町・沼隈町は除く）、三次市（作木町・君田町・布野町は除く）、庄原市（東城町・西城町・比和町・高野町・口和町は除く）、三原市大和町・久井町、尾道市御調町、東広島市豊栄町、世羅郡、神石郡

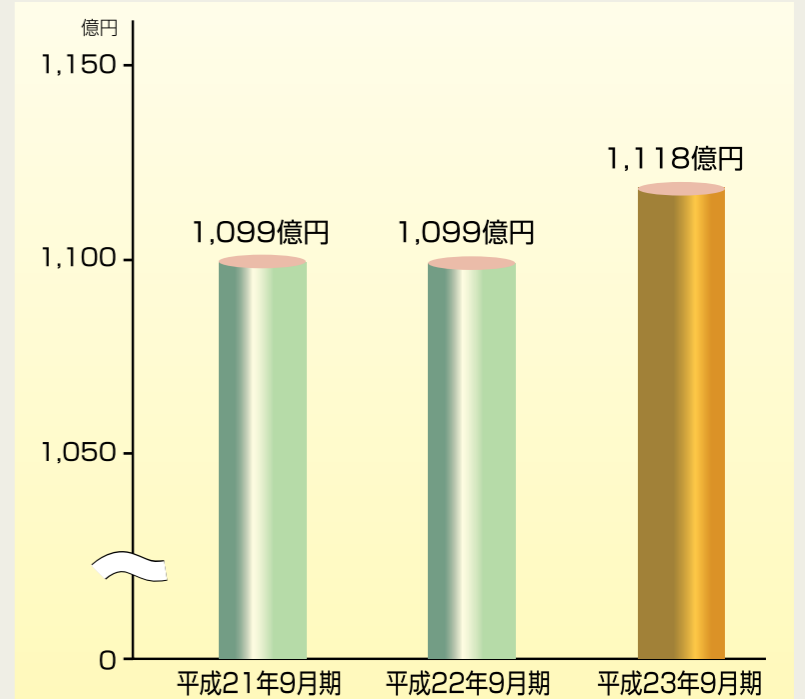
平成23年9月30日現在

預金の推移

預金は、前年同月比19億円増加しました。

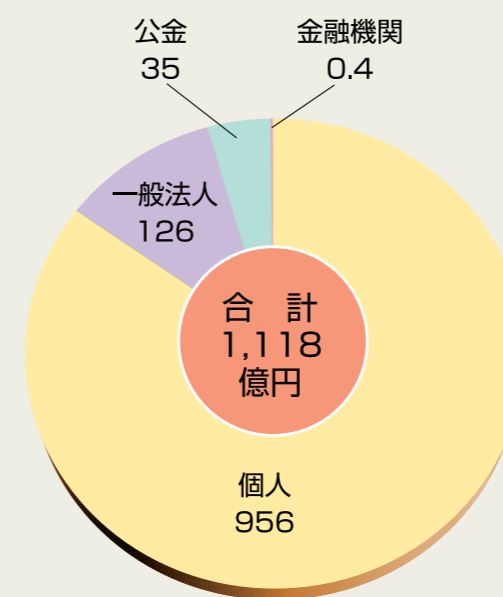
預金は、子育て家族を応援する「子育て支援定期積金」、夏・冬の「定期預金キャンペーン」の継続実施に加え、「定期預金 感謝」が好評をいただいたことにより、前年同月比19億円増加し1,118億円となりました。

個人のお客様を中心に流動性・定期性預金ともに増加しました。



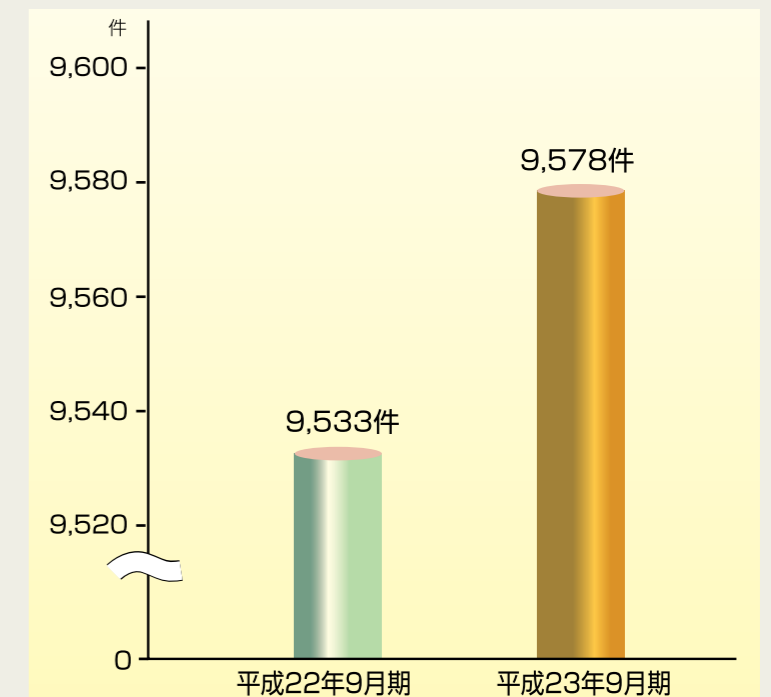
お客様の構成

(単位：億円)



年金振込件数の比較

年金振込み件数は、前年同月比で45件増加しました。

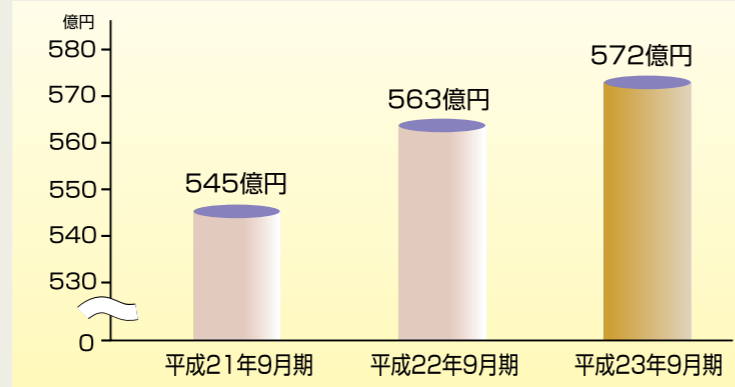


※年金基金を除く

貸出金の推移

貸出金残高は、前年同月比9億円増加し、事業所融資先数も50先増加しました。

貸出金は、中小企業の金融円滑化・支援融資、個人ローン・住宅ローン、保証協会付融資の積極的な取組みにより貸出金の増強に努め、前年同月比事業所融資先数50先、個人融資先数111先、残高9億円増加しました。



リョーシンのご融資は、幅広く、小口多数をモットーに推進しています。

リョーシンは、特定業種や大口取引に偏らず、多くのお客様に幅広くご融資するという「小口多数」を行動の目標としています。お客様に安心してお取引していただくために、地域で事業を営む方や、ご家庭への円滑な資金供給を経営の使命として活動しております。

(単位：百万円・%)

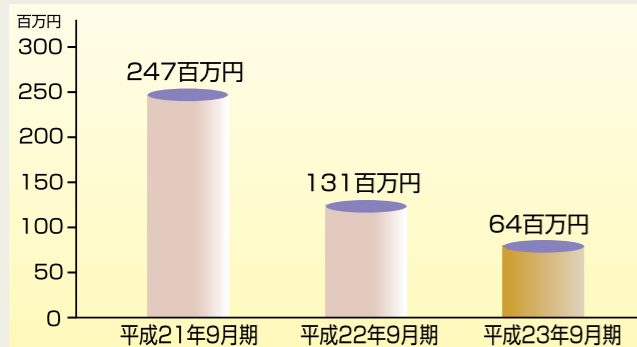
業種区分	23年9月期		業種区分	23年9月期	
	残高	構成比		残高	構成比
製造業	6,719	11.7	宿泊業	53	0.1
農業、林業	280	0.5	飲食業	1,266	2.2
漁業	79	0.1	生活関連サービス業・娯楽業	1,119	2.0
鉱業、採石業、砂利採取業	2	0.0	教育、学習支援業	57	0.1
建設業	4,399	7.7	医療、福祉	1,257	2.2
電気、ガス、熱供給、水道業	66	0.1	その他のサービス	1,406	2.5
情報通信業	61	0.1	その他の産業	-	-
運輸業、郵便業	1,232	2.2	小計	35,041	61.2
卸売業、小売業	4,463	7.8	地方公共団体	7,530	13.1
金融業、保険業	2,500	4.4	※個人	14,717	25.7
不動産業	9,063	15.8	合計	57,289	100.0
物品賃貸業	334	0.6			
学術研究、専門・技術サービス業	675	1.2			

※個人は、住宅資金・消費資金等の貸出金です。
(事業用資金の貸出金は含んでおりません。)

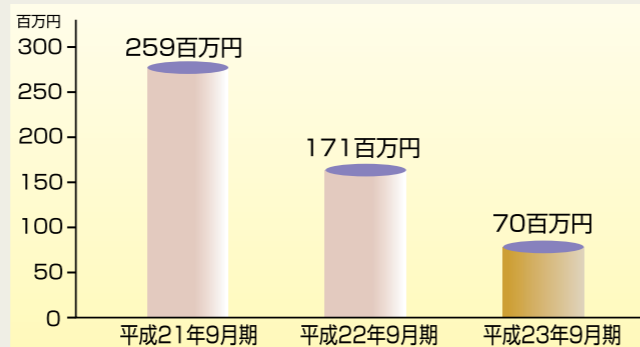
当期純利益は、前年同月比101百万円減少し70百万円となりましたが、平成22年9月期は特別利益131百万円等により利益が増加しており、当期の利益は事業計画の利益を確保しております。

経常利益は、運用収益等の低下から前年同月比67百万円減少し64百万円となりました。

経常利益の推移



当期純利益の推移

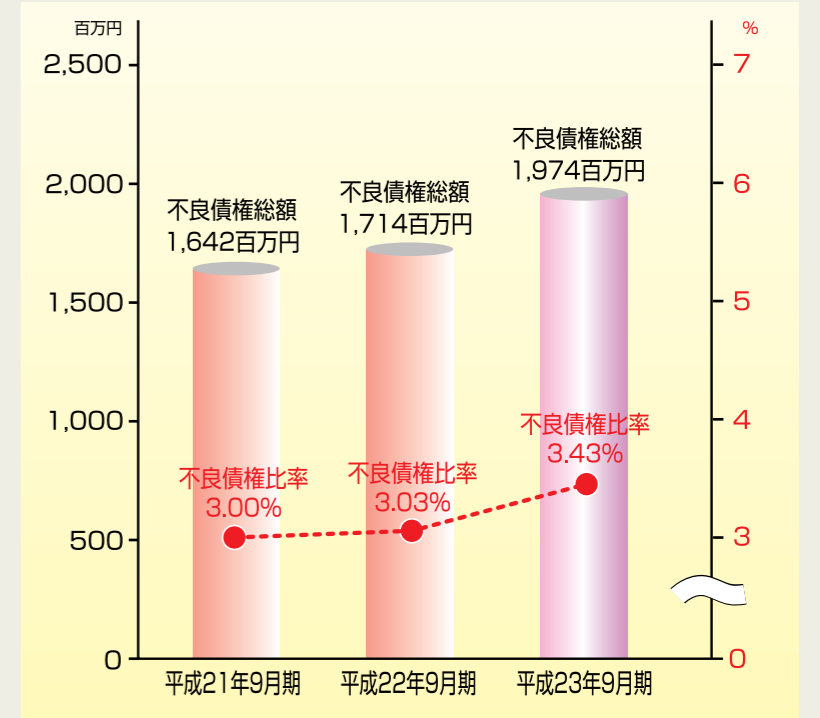


不良債権比率の推移

不良債権比率は3.43%と資産の健全性を確保しております。

金融再生法開示債権額のうち正常債権を除く額は、景気の低迷による要管理債権の増加などにより、前年同月比より260百万円増加し、1,974百万円となり不良債権比率は3.43%となりました。

リョーシンは、厳しい状況下においても前向きに事業に取り組む経営者様の悩みや課題を共有し、解決することで、業況改善のお手伝いをいたします。今後も、幅広い金融支援に取り組んでまいります。



金融再生法開示債権の状況

不良債権は、しっかりと引当金などでカバーされています。

不良債権額1,974百万円のうち、76.67%が、担保・保証、貸倒引当金により保全されています。残りの約23.33%にあたる461百万円は、自己資本によりカバーしています。

(単位：百万円)

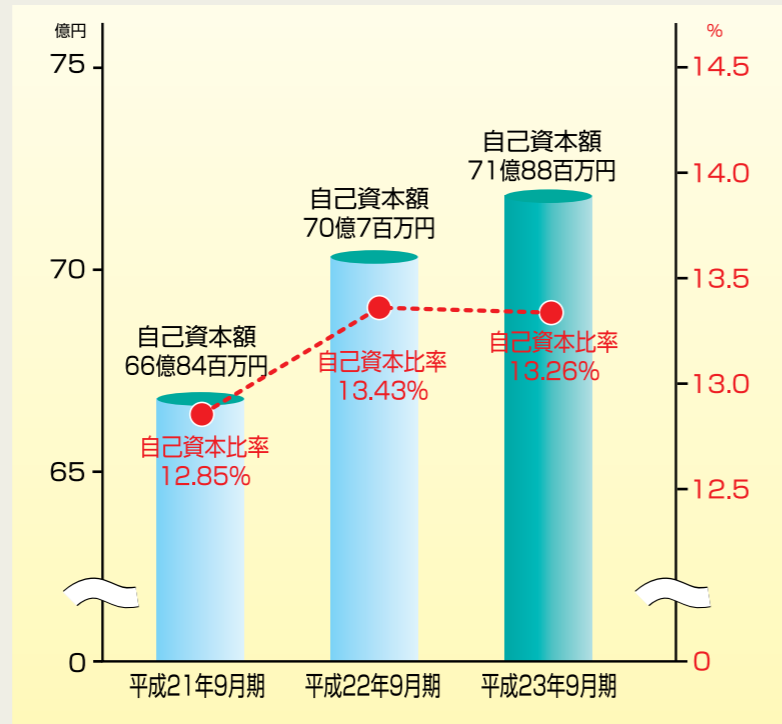
区分	年度	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当金引当率 (C)/(A)-(B)
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	平成23年9月期	686	325	361	686	100.00%	100.00%
	平成22年9月期	1,187	598	589	1,187	100.00%	100.00%
危険債権	平成23年9月期	358	273	34	308	85.90%	40.47%
	平成22年9月期	166	129	15	144	86.77%	40.71%
要管理債権	平成23年9月期	928	441	77	518	55.86%	15.89%
	平成22年9月期	360	101	54	156	43.42%	21.15%
不良債権計	平成23年9月期	1,974	1,040	473	1,513	76.67%	50.67%
	平成22年9月期	1,714	829	659	1,488	86.82%	74.48%
正常債権	平成23年9月期	55,423					
	平成22年9月期	54,767					
合計	平成23年9月期	57,397					
	平成22年9月期	56,481					

自己資本比率の推移

自己資本比率は13.26%となり、リスクに対し高い自己資本額を保持しております。

平成23年9月期の自己資本額は、利益の積み増し等から181百万円増加し、71億88百万円となりましたが、貸出金等の残高増加などによるリスクアセットの増加から自己資本比率は、前年同月比0.17ポイント低下し13.26%となりました。

金融機関の健全性の指標である自己資本比率は、最低所要自己資本比率4%基準を大きく上回り、金融機関としての経営の健全性は十分に確保しております。



自己資本比率の内訳

(単位：百万円)

項目	平成21年9月期	平成22年9月期	平成23年9月期
(自己資本)			
出資金	872	902	919
利益準備金	434	484	534
特別積立金	4,880	5,150	5,350
次期繰越金	326	271	171
〔基本的項目〕計(A)	6,513	6,808	6,976
一般貸倒引当金	171	198	211
〔補完的項目〕計(B)	171	198	211
自己資本総額(C) = (A) + (B)	6,684	7,007	7,188
〔控除項目〕計(D)	33	—	—
自己資本額(E) = (C) - (D)	6,651	7,007	7,188
(リスク・アセット等)			
資産(オン・バランス)項目	47,867	48,319	50,409
オフ・バランス取引等項目	120	142	142
オペレーショナルリスク相当額を8%で除して得た額	3,768	3,690	3,630
リスク・アセット等計(F)	51,756	52,153	54,181
T i e r 1 比 率 (A / F)	12.58%	13.05%	12.87%
自 己 資 本 比 率 (E / F)	12.85%	13.43%	13.26%

中小企業等金融円滑化の取組み進捗状況

地域の中小企業者等の悩みを一緒に考え、問題の解決に努めていくため、中小企業者等金融円滑化基本方針を定め適切かつ積極的な金融仲入機能を発揮することで、地域経済の活性化に貢献しております。

リョーシン経営塾

本塾は次世代を担う志高き経営者・後継者・経営幹部の皆様の勉強会を開催しております。また、個別相談も受付けております。

不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の取組み

事業者カードローン『絆』(当組合独自の融資制度)

急な事業資金不足に対応します。

平成23年9月末(極度枠)
204件 503百万円

経営基盤安定化資金(当組合独自の融資制度)

信用保証協会の保証が得られない場合においても、長期的なお取引のなかから当組合独自の審査で、無担保でご融資いたします。

平成23年9月末残高
133件 489百万円

金融円滑化資金(当組合独自の融資制度)

既往の借入金をまとめることで、月々の返済額が軽減されます。

平成23年9月末残高
40件 1,309百万円

中小企業支援ネットワーク強化学業(中国経済産業局事業)参加

地域金融機関としての金融機能を発揮することを目的として、金融円滑化の取組みや経営再生等の問題解決を図るため、中小企業支援ネットワーク強化学業に参加いたしました。

今年度、中小企業の経営課題等の解決を図るため、専門家の派遣による課題解決に向けた事業支援を行っています。

13社

金融円滑化法に関する取組み

(平成21年12月4日から平成23年9月末までの累計)

ご融資先が中小企業経営者の方の場合

(単位：百万円・件)

	平成22年9月末		平成23年9月末	
	件	金額	件	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の額	328	3,664	670	7,993
うち、実行に係る貸付債権の額	305	3,367	640	7,297
うち、謝絶に係る貸付債権の額	5	122	6	186
うち、審査中の貸付債権の額	12	139	7	55
うち、取下げに係る貸付債権の額	6	35	17	454
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていた貸付債権のうち実行に係る貸付債権の額	99	418	238	934
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていた貸付債権のうち謝絶に係る貸付債権の額	1	4	1	4

ご融資先が住宅資金の方の場合

(単位：百万円・件)

	平成22年9月末		平成23年9月末	
	件	金額	件	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の額	25	360	42	580
うち、実行に係る貸付債権の額	20	263	33	465
うち、謝絶に係る貸付債権の額	3	59	3	59
うち、審査中の貸付債権の額	2	37	3	34
うち、取下げに係る貸付債権の額	0	0	3	20

主要な経営指標の推移

(単位：百万円)

区分	平成22年9月期	平成23年9月期
経常収益	1,138	1,083
業務純益	226	108
コア業務純益	210	143
経常利益	131	64
当期(中間)純利益	171	70
預金積金残高	109,927	111,852
貸出金残高	56,352	57,289
有価証券残高	21,140	21,386
総資産額	117,717	120,385
純資産額	6,827	6,920
自己資本比率	13.43%	13.26%
出資金	902	919
組合員数	22,902名	22,987名
常勤役員数	161名	159名

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	資産の部		科目	負債及び純資産の部	
	平成22年9月期	平成23年9月期		平成22年9月期	平成23年9月期
(資産の部)			(負債の部)		
現金	1,239	1,162	預金積金	109,927	111,852
預け金	37,880	39,046	借入金	—	730
有価証券	21,140	21,386	その他負債	549	494
貸出金	56,352	57,289	賞与引当金	95	98
その他資産	726	670	退職給付引当金	156	162
有形固定資産	760	916	役員退職慰労引当金	53	44
無形固定資産	14	164	その他の引当金	21	17
繰延税金資産	320	291	債務保証	86	64
債務保証見返	86	64	負債の部合計	110,890	113,464
貸倒引当金	▲802	▲607	(純資産の部)		
(うち個別貸倒引当金)	(▲604)	(▲395)	出資金	902	919
			利益剰余金	5,906	6,056
			組合員勘定合計	6,808	6,976
			その他有価証券評価差額金	18	▲55
資産の部合計	117,717	120,385	純資産の部合計	6,827	6,920
			負債及び純資産の部合計	117,717	120,385

損益計算書

(単位：百万円)

科目	平成22年9月期	平成23年9月期	科目	平成22年9月期	平成23年9月期
経常収益	1,138	1,083	経常利益	131	64
資金運用収益	1,020	1,004	特別利益	127	45
(うち貸出金利息)	(715)	(724)	特別損失	15	1
役員取引等収益	58	66	税引前当期(中間)純利益	242	108
その他業務収益	59	4	法人税、住民税及び事業税	64	7
その他経常収益	0	8	法人税還付金	—	—
経常費用	1,006	1,019	法人税等調整額	6	30
資金調達費用	93	70	当期(中間)純利益	171	70
(うち預金利息)	(92)	(69)			
役員取引等費用	56	60			
その他業務費用	16	35			
経費	723	800			
その他経常費用	116	52			

東日本大震災にかかる義援金のご報告とお礼

当組合では、店頭義援金活動および東日本大震災復興支援定期預金「希望」を実施したところ、多くのお客様の温かい真心から、被災者の方々へ義援金をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

お預かりした義援金は日本赤十字社を通じて被災者の方々へお届けいたしました。

被災地の一日も早い復興をお祈りするとともに、ご協力いただきました皆様に心から厚くお礼申し上げます。

義援金活動(3/12~10/30)の結果をご報告いたします。

お客様からの義援金総額 2,707,056円

内訳：店頭義援金(募金箱および振込) ……2,502,636円
東日本大震災復興支援定期預金「希望」…204,420円

地域貢献活動

地域に対する当組合の姿勢

当組合は、協同組織金融機関としての使命を発揮し、地域の活性化とお取引先の繁栄に繋がる地域貢献活動に取り組んでおります。

ご融資を通じた活動

地域の皆様からお預かりした預金を、地域の事業所や個人の方にご融資することで、事業経営者の事業繁栄や生活者の生活の質の向上に、お役立っています。

事業経営者、会社員等、地域の皆様の融資ニーズに対応した各種融資商品をご用意しております。

● 商工会議所会員サポートローン

商工会議所会員様を対象に、ご利用しやすい事業者ローンを取扱いしております。

● 無担保スピード保証融資

広島県、広島県信用保証協会と提携した無担保融資を取扱いしております。

● リョーシン経営塾

経営コンサルタント(株)タナベ経営と提携し、会員皆様の経営力強化・効率化等に役立つセミナーを実施しています。また、個別相談も受付けておりますので、何なりとご相談ください。

● 経営改善支援計画の提案及びフォローアップ支援

経営改善に向けた計画書を策定するソフトを導入し、事業資産(人、物、金、情報等)の最適な配分に基づく事業活動の選択と集中等で黒字転換を図るお手伝いをしています。

また、以下の専門家と連携し、お取引先の経営課題等の改善に向けた取り組みを実施しています。

◎広島県商工会連合会 ◎各商工会議所 ◎中小企業診断士協会広島支部 ◎TKC全国会

● 事業分析の提供

事業分析から、問題点や弱点の改善に向けて事業の効率性、特化などを検討し、事業強化に繋がるお手伝いをしています。

● ビジネス・マッチング

商品・技術を求める企業向けに、提携先機関等を通じて斡旋のお手伝いをしています。

● ライフプランの提供

住宅購入、お子様の進学等を計画されておられるお客様に、当組合のFP資格者が将来のしあわせ計画を提供しています。

リョーシン経営塾 第6クール開講します。

経営者・後継経営者・経営幹部向け
経営を体系的に学べる実践講座!

特別講演会

現在活躍中の経営者を招き、成功例、失敗例の講演から自社に活かせる経営のヒントが学べます。

実践勉強会

経営の基本を体系的に学ぶことを第一目的として、経営の現場から事例を踏まえ、具体的に活かした経営ノウハウをご提供いたします。

情報提供サービス

経営情報誌やFAX、メールマガジンなどを媒体として、経営に役立つコンテンツを定期的に配信いたします。

個別経営相談

経営者が抱える経営課題についてコンサルタントが個別に相談をお受けいたします。

ボランティア活動

公共の場の美化を目的に、今年も「下川辺駅(府中町支店)」「福山城址公園(福山支店)」など16か所の清掃を当組合役員で行いました。



「下川辺駅」府中町支店

「福山城址公園」福山支店

地域行事に参画

地域社会の一員として、地域のつながりや活性化を高める地域行事に積極的に参画しています。

- ドレミファフェスティバル
- 甲山廿日えびす
- 上下かかし祭り
- 駅家サッサカ祭り
- 久井岩海祭り
- 吉舎夏祭り
- 常金丸学区駅伝大会
- さんわふるさとフェア



ドレミファフェスティバル



上下かかし祭り(金賞受賞)



常金丸学区駅伝大会



さんわふるさとフェア

職場体験学習

今年も職場体験学習として、学生・生徒さんを受け入れ、仕事と社会のつながりについて勉強されました。

- ・ 福山平成大学 2名
- ・ 大阪商業大学 1名
- ・ 府中市立府中中学校 4名
- ・ 府中市立上下中学校 1名
- ・ 福山市立駅家南中学校 2名



第18回 リョーシン年金友の会日帰り旅行

『「坂の上の雲」ゆかりの地・松山と源泉100%美人の湯・奥道後温泉の旅』

平成23年9月5日から延べ5日間、総勢1,162名の多数の参加を頂き、誠にありがとうございました。

来年度も皆様のご要望を取り入れ、楽しんでいただける旅行を計画いたしますので、ご期待ください。



情報誌の提供

リョーシンをより身近に感じていただけるような情報(ミニ新聞)『とびっくす』を年2回お届けしています。

また、地域の経営者、ご家庭に役立つ「経営情報レポート」「生活情報レポート」を毎月定期的にお客様のお手許にお届けしています。



リョーシン『とびっくす』



生活情報レポート



経営情報レポート

合併協議について

経営基盤の強化から新組合が目指すもの

両備信用組合と広島県信用組合とは、合併という抜本的な組織の再構築により経営体質を更に強化させ、真にお客様が便利で頼りになる新しい信用組合づくりを目指しております。

◆新組合が目指すもの

- (1) お客様の多様で高度な金融ニーズに的確に対応し、さらなる金融サービスの向上を図ってまいります。
両組合本部体制の合理化、高度化を図り、営業店支援、経営改善支援、お客様相談業務等を強化することにより、お客さまとのつながりを一層深め、真に頼りになる質の高い金融サービスを提供してまいります。
- (2) 経営基盤(資本力・収益力)の強化により、経営環境の変化に対応できる体力を強化し、市場競争力を高めてまいります。
両組合の合併により、資本力・収益力が強化されるとともに、今後、さらに「経営力」「現場力」「人財力」を強化し、地域とお客さまの明るい未来に貢献するための様々な商品等を提供してまいります。

◆合併に関する基本事項

基本事項	
合併期日	平成25年2月を目処とします。
合併の方法	対等合併とし、合併手続き上は広島県信用組合を存続組合とします。
名称	広島県信用組合
合併後の本店	本店 広島県信用組合の本店
	本部 広島県信用組合の本部
	東部本部 両備信用組合の本店
合併後の役員	会長 現広島県信用組合の理事長 理事長 現両備信用組合の理事長
合併後の出資	合併比率は対等とし、出資1口の金額は500円とします。
合併の効力	平成24年6月に開催される通常総代会決議および中国財務局長の認可を条件とします。
合併準備委員会	合併準備委員会を設け、合併に関する細目を協議しております。

※合併期日の延期について

合併協議を続ける中で、人事諸制度および事務処理システム関係の調整に想定以上の時間を要することとなり、合併効果をあげるためにはなお相当の時間をかけ、慎重、かつ、十分な準備が必要との認識で一致したため、合併期日を延期し、平成25年2月を目処とすることといたしました。

◆経営基盤の強化

項目	両備信用組合	広島県信組	新組合	
資本力	純資産	6,942百万円	10,751百万円	17,693百万円
	うち、出資金	912百万円	6,555百万円	7,467百万円
	うち、剰余金	6,022百万円	3,242百万円	9,264百万円
	自己資本比率	13.40%	8.25%	9.71%
収益力	経常収益	2,228百万円	5,643百万円	7,871百万円
	経常利益	299百万円	1,053百万円	1,352百万円
	当期純利益	287百万円	893百万円	1,180百万円
運用調達力	貸出金残高	565億円	1,541億円	2,106億円
	預け金残高	388億円	248億円	637億円
	有価証券残高	203億円	343億円	547億円
	預金残高	1,106億円	2,077億円	3,183億円
組織力	組合員数	22,914名	54,016名	76,930名
	役員員数	156名	248名	404名
	店舗数	15店舗	29店舗	44店舗

※新組合欄は、両組合の平成23年3月期実績を合計した値を記載しています。

店舗一覧表（事務所の名称・所在地）

店名	郵便番号	住所	電話	F A X
本部	〒726-8609	府中市元町462番地の10	(0847)45-2228	(0847)45-2784
★本店営業部	〒726-8609	府中市元町462番地の10	(0847)45-2229	(0847)45-2677
★甲山支店	〒722-1112	世羅郡世羅町大字本郷25番地の1	(0847)22-1144	(0847)22-1125
★上下支店	〒729-3431	府中市上下町上下1057番地5	(0847)62-2200	(0847)62-2202
★駅家支店	〒720-1132	福山市駅家町大字倉光19番地1	(084)976-2323	(084)976-3501
府中町支店	〒726-0005	府中市府中町140番地の3	(0847)41-2311	(0847)41-2310
久井支店	〒722-1304	三原市久井町江木1162番地の12	(0847)32-6033	(0847)32-6075
小国支店	〒722-1701	世羅郡世羅町大字小国3393番地	(0847)37-2131	(0847)37-2132
吉舎支店	〒729-4211	三次市吉舎町吉舎197番地3	(0824)43-2184	(0824)43-2538
金丸支店	〒729-3111	福山市新市町大字金丸419番地1	(0847)57-8121	(0847)57-8122
三和支店	〒720-1522	神石郡神石高原町小島2156番地1	(0847)85-2319	(0847)85-3470
福山支店	〒720-0031	福山市三吉町4丁目3番11号	(084)925-5850	(084)925-5891
福山東支店	〒721-0907	福山市春日町6丁目1番25号	(084)943-2288	(084)943-2287
★神辺支店	〒720-2106	福山市神辺町字十九軒屋77番地1	(084)963-4700	(084)963-4709
★新市支店	〒729-3101	福山市新市町大字戸手604番地3	(0847)51-5333	(0847)51-5334
府中東支店	〒726-0012	府中市中須町729番地の5	(0847)51-8686	(0847)51-8071

ATMでキャッシュカードにより暗証番号の変更・お振込み・利用限度額の変更ができます。

★印の店舗のATMの稼働時間は、午前8：45～午後7：00です。

★印の無い店舗のATMの稼働時間は、午前8：45～午後6：00です。

ATMのご案内

※当組合のキャッシュカードは、国内ほぼすべてのATMで出金できます。

なお、当組合以外のATMをご利用された場合の手数料は、「キャッシュバック制度（手数料返金）」により実質無料でご利用できます。

（注）一部有料になる場合があります。

○入金は、セブン銀行、ゆうちょ銀行、ほか一部のATMでご利用ができます。

○預金通帳の付込みは、当組合ATMのみとなります。

キャッシュバック制度の概要

- ①すべてのお客様
他金融機関ATM利用手数料をご返金いたします。
- ②当組合の「組合員」または「給与振込をご利用」のお客様
①に加え時間外利用手数料をご返金いたします。
※ご返金の上限は、1ヶ月当たり最大1,050円までとなります。
なお、1,050円を超えた場合には、お客様のご負担となります。

もっと便利に!

キャッシュカードに加え、「預金通帳」でも当組合のATMで出金ができるようになりました。

ご希望のお客様は、「預金通帳」、「お届印」および「ご本人確認書類」を店頭にご持参のうえ、お申しくださいますようお願い申し上げます。

※お手続きされる方は、ご本人様のみとなります。

●詳しくは、店頭窓口までお気軽にお尋ねください。

対象のお客様

個人の方のみ

お取扱可能な預金の種類

キャッシュカード発行済みの預金口座
〔普通預金〕・〔貯蓄預金〕



〒726-8609 広島県府中市元町462番地の10

TEL (0847) 45-2228

FAX (0847) 45-2784

<http://www.ryobishinkumi.co.jp>